

法学部キャリアガイダンス実施教員に関するアンケート結果のとりまとめ

法学部キャリア委員 矢嶋 美都子

1. キャリアデザインガイド 1 の内容と感想について

良い評価 多色刷りで見た目もよく、分かり易く、豊富な内容を具体的に楽しく、学生が職業をイメージしやすいように構成し、丁寧に説明してある。
就職活動の成功体験や、建学の精神を知るなど去年と内容が一新されとてもよくなった。
ワークショップもよいつくりである。

改善点 やや盛り込みすぎか。

2. キャリアデザインガイド 1 の活用状況について

活用している 1 名(卒業後の進路選択の際に利用) 活用していない 10 名
今後活用したい 13 名

3. 本学のキャリア教育に関する理解度について

理解度「5」は 4 名 「4」は 5 名 「3」は 5 名 「2」は 5 名 「1」は 3 名 無回答は 1 名
約半数、実はほとんどの先生がキャリア教育という概念を理解していない状況です。理由は彼らの殆どが就職活動を経験したことがなく、政府機関はもとより一般企業にも勤めた経験がないので、現在の学生の就職活動の実態は想像外なのです。私自身も同じですからよく分かります。キャリアセンターの職員の方の話を毎年学生と一緒に聞いて啓蒙されつつあります。私の学生時代にはキャリア教育というものはありませんでしたから。去年理解度「2」の 5 名が今年は 1 名になったので少しは教員の理解が進んだかと思えます。新任の先生にはゼロからのガイダンスが必要です。

4. 本学のキャリア教育に関する今後の具体的課題について

- (1) 学生に自覚、意欲をもたせ、モチベーションを高める。将来の職業の具体的なイメージを持たせる。
たとえば企業の人事担当者の話、職業別同窓会を充実させその先輩の話し、を聞くなど。
- (2) キャリア教育の継続性。特に 2 年生後期から 3 年生にかけて。このつなぎの工夫が必要。
- (3) この授業が就職する際や、就職後も役に立つのだ、と学生に認識させること。

5. 「教職員一体」でキャリア教育に取り組むに際し、「教員」と「職員」の役割分担に関するアイデアや具体的方法について

ゼミの時間を利用して、キャリアセンターの職員、企業の人事担当者、先輩、など呼んで話を聞く。経験交流会を開く。
経営学や経済学のガイダンスを導入する(一般企業のサラリーマン希望者用)。

6. キャリアガイダンスに参加しての印象や感想について

良い評価 卒業生が活躍する企業の DVD などの視聴覚教材を用いたり、ワークを導入した授業は学生の関心を喚起し、意識付けしやすく有意義だ(お礼の仕方など)。具体的内容で学生に主体的に取り組ませるやり方になり、以前の「説教型」よりもずっとよくなった。
講話の話し方が上手になった。

改善点 キャリア支援の全体像示して、当該講座がそのどこに当たるのかを知らせてもらえると、学生に事前にレクチャー、アナウンスできるのだが。
成績、意欲が底辺の学生対策。

以上